

# みなみかぜだより 九月



敬老の日

## 「恒例かき氷特集」

### チューリップ通り

今年の夏も暑い日が続きますが、チューリップ通りではイベントでかき氷作りを行ないました。夏の定番の食べ物と言ったらおそらく一番に名前が出てくる「かき氷」。真夏の日差しが照りつける中、「氷」と書いたのぼりを見るとちょっと涼しさを感じます、手回しのかき氷機で利用者様の前で氷を削り、シロップをかけて頂きました。皆さん甘い物を食べて笑顔もでていましたが、なにより氷に乗せる「あんこ」がとても好評でおかわりされる方も多かったです。かき氷で少しでも“涼”を感じていただけたのであれば幸いです。

### ゆり通り

日々 猛暑が続く中、少しでも涼しい思いをして頂くとうり通りでは、夏の風物詩である、かき氷作りを行ないました。甘いデザートは利用者様方には、あまり受けが良くないかと少々不安でした。しかし、かき氷を食べられると笑顔で「美味しい」と口にしたたり、笑顔がこぼれる様子が見られました。他にも食の細い利用者様が、かき氷のおかわりを3〜4回程されたり普段見られない表情も見られたので、今回の行事は、夏の良い思い出になったと思います。

### デイケア

レクリエーションでカラオケをした後、おやつにかき氷を食べました。手動のかき氷機を使って氷を削るのですが、機械は高さがありハンドルを回す力が必要なため職員が担当し、二名の利用者様が協力して下さいました。職員と一緒に利用者様が食べられる程のかき氷を器に盛り、色鮮やかなシロップをかけて配りました。シロップの色、味またはあんこのどちらを好まれ食べられたのでしょうか？全国的に猛暑続きで、おいしいかき氷が食べられて皆様喜ばれていました。



## 「パンケーキ作り」すみれ通り

八月二十九日（金）午後から二十名の利用者様とパンケーキ作りをしました。ホールの二カ所にホットプレートを用意し、二、三名の方がホットケーキを焼いて、四名の方にホットケーキに生クリーム・小豆あん・バナナ等のトッピングをして頂き、とてもおいしそうなパンケーキが出来ました。また、事前に聞いていた飲みたい飲み物「カルピス・アイスコーヒー等」と一緒にパンケーキを食べられました。皆様「おいしい、こんな物は初めて食べた。美味しかった」と喜ばれ話も盛り上がり楽しく過ごされました。



## 施設内研修発表会



八月二十三日（金）第二十一回施設内研究発表会が開催され、六グループが発表しました。発表内容は、療育音楽グループは夏祭りに参加されているメンバーを対象に、馴染みのある「炭坑節」を聴き、あわせて演奏することで音に触れ楽しく過ごせることができました。排泄グループは車椅子使用時のウロガードの取り付け方法の工夫を検討している。接遇グループは認知症の方がおられるなか、接遇マニュアルにそぐわない状況を考え、違う角度からアプローチしスタッフの意識改革に取り組み、その一つとして「アンガーマネジメント」を取り入れた。リハビリグループは腰痛についてスタッフにアンケートをとり、腰痛の意識調査を行う事で正しい知識と対処法で腰痛が緩和することによる業務効率化への取り組み。居宅グループは認知症の方の家族と住み慣れた自宅で暮らし続けるための関わり方のなかで、今までの人生で「難儀」をしてきているため少々の事では苦労を感じていないことが課題となり、施設への入所を検討しながら本人のニーズ、意向を汲みながら地域の力や行政との連携の重要性の再認識。デイケアグループは利用者様への安心・安全な送迎が出来るようマニュアルを再検討した。約一時間、六グループの演題を一発表ごとに質疑応答を行い利用者様に寄り添った研究発表ができました。次回は令和二年八月を予定しています。